

がん と アントロポゾフィー医学

日本人の2人に1人が生涯にかかると言われる「がん」とは、いったいどのような病気なのでしょうか？ 医学研究の日々の進歩によって、診断力も治療法も確かに進化しているのですが、いまだに日本人の死因第1位の疾患でもあるのです。がん治療の現状と、その中でアントロポゾフィー医学が果たすことのできる役割について、ご説明しようと思います。



講師

浦尾 弥須子 医師

すみれが丘ひだまりクリニック医師
日本鋼管病院・こうかんクリニック耳鼻咽喉科部長
こうかんクリニック副院長
東京女子医科大学卒業

専門：耳鼻咽喉科全般、頭頸部外科、耳鼻咽喉科心身症

日時： 2018年1月20日（土）10：00～12：00（一般対象）
2018年2月17日（土）10：00～12：00（医療者対象）

参加費： 3,000円（当日受付にてお支払ください）

ところ： すみれが丘ひだまりクリニック（www.yamamoto-kinen.or.jp/free_medical）

定員： 各回先着15名

2018年2月17日（土）13：30～15：30には、同クリニックにて、小林誠医師による『アントロポゾフィーの観点からみる産婦人科』の講座を開催します。ぜひ併せてご参加ください。

申込み

045-594-2417
（すみれが丘ひだまりクリニック）

電話受付時間 月～土曜日
9時～12時 / 14～17時
（日、祝日、第1・3・5土午後は休診）